

[1月8日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

お
せ
ち
立見まゆ
二年

佐藤希雲先生

幼・小学1年参考手本

ね
いなおかりん

工藤永翠先生

ぞう
いそ
う
山田あい
小二

広瀬舟雲先生

むらかみふゆ
もち
少

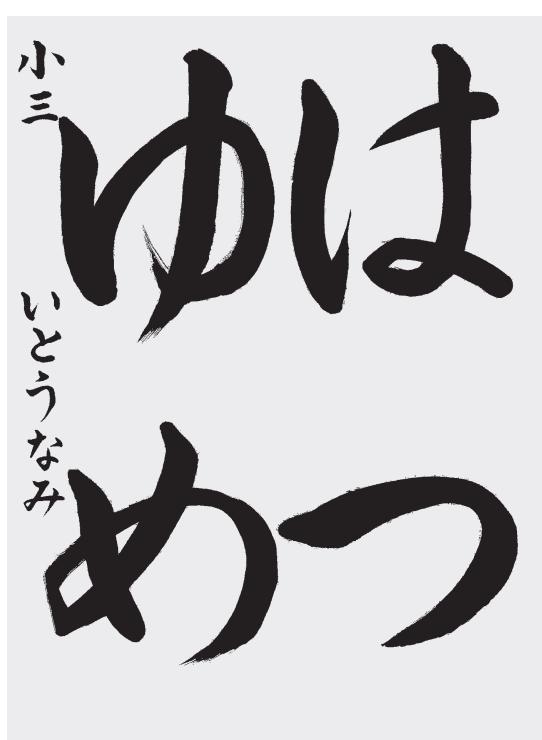
北村白琉先生

〔1月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本



小学3年参考手本



〔1月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本

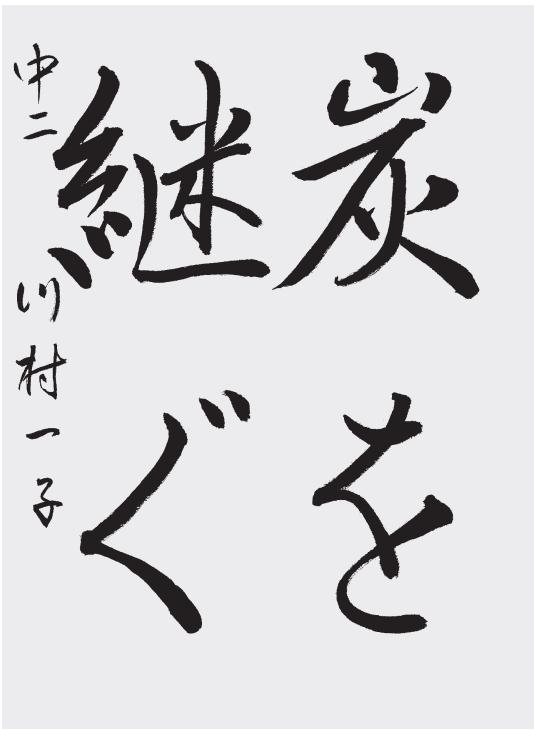


小学5年参考手本



[1月8日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



石井明子先生



種谷萬城先生

※この課題は行書で書くこと。
中国的歴史上の人物で一番書が上手といわれている人が
王羲之です。その中でも代表作がこの蘭亭序です。筆脈に
注目して下さい。



名越蒼竹先生



蘭亭序
(中国・東晋時代)
王羲之

発展〔中学生〕

・有名な古典の名跡に挑戦してみよう

毛筆参考手本解説(1)

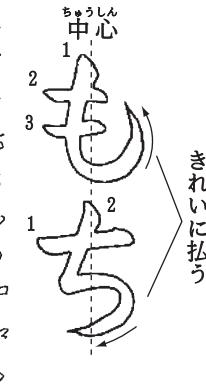
1年

とめる
あける

〈じげん〉

祢祢祢祢祢祢
ね(ヨ)ね(明)ね(教)

祢祢祢祢祢祢
ね(ヨ)ね(明)ね(教)



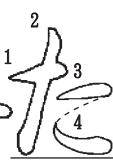
つながらる気持ちで
「じげん」毛考もも知知ち
もち(ヨ)もち(明)もち(教)
たつ年(ヨ)たつ年(明)
たつ年(教)

2年

3年

はらう

〈ひつじゅん〉



※年の筆順に注意しましょう
ノヽニヽ三・年

ノヽニヽ三・年
たつ年(ヨ)たつ年(明)
たつ年(教)

4年

横画は同じ間かくで

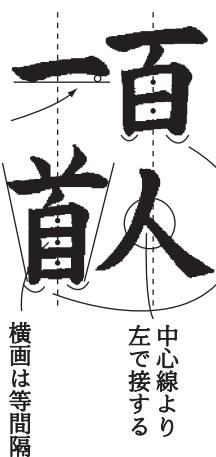


〈筆順〉
ノヽ牛牛生
生きる力(ヨ)
生きる力(明)
生きる力(教)

百人一首(ヨ)百人一首(明)
百人一首(教)

5年

たて画が出る



右上がり気味にし
上にそらす

〈筆順〉

一一ア万百百
ソヌナヤ首首首

百人一首(ヨ)百人一首(明)

横画・たて画は
等間隔に
等間隔に
右端をそろえる

〈筆順〉

理想(ヨ)理想(明)理想(教)

おせち(ヨ)おせち(明)おせち(教)
世世せせ
知知ち
於於おお
曾曾曾曾
字字字字
仁仁仁仁
はつゆめ(ヨ)はつゆめ(明)



波波波
川川川
由由由
女女女
新春(ヨ)新春(明)新春(教)

〈ひつじゅん〉
上カ立
新春(ヨ)新春(明)新春(教)

許容

方向
長短

止め
止止め

理想(ヨ)理想(明)理想(教)

十木相想

想

理想(ヨ)理想(明)理想(教)

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましょう。
ゴシック体(ゴ)・明朝体(明)・教科書体(教)・HGP行書体(H)

硬筆参考手本

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましょう。ゴシック体(ゴ)・明朝体(明)・教科書体(教)・HGP行書体(H)

「空」をていねいにただしくかきましょう。

空はどこまで

もつづきます

たなべみなど

幼・小学1年

小 学 2 年

支部名	ね	こ	も
段・級	が	れ	つ
学年	鳴	は	づ
二	る	ど	き
名前	音	こ	ま
長谷もか	で	ま	す
	す	な	。
	。	か	

ちゅうしん 中心 ちゅうしん 中心 ちゅうしん 中心 ちゅうしん 中心

空

ま

も

大

鳥

音

「鳴」の字形を正しくかきましょう。

「口」は小さく、「鳥」は大きく
「左はらい」 大(ゴ) 大(明)
「右はらい」 大(教)

よこかくのかんかくにちゅうい
から、のびやかにはらう。
「ふ」(れつか)のせんの 鳴(ゴ)
ほうこうにちゅうい
(ひつじゅん)

口 叫 吼 呻 呻 鳴 鳴

音(ゴ) 音(明) 音(教)

音(ヒツジュン)

[1月8日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年

小学3年

支部名	が	の	新	
段・級	の	生	聞	
学年	つ	活	に	
四	て	に	は	
名前	い	関	、	
本山進次	た	係	、	
	。	の	自	
		あ	分	
		る	た	
		事	ち	

支部名	一	面	雪
段・級	が	が	が
学年	銀	ふ	ふ
三	世	り	り
名前	界	、	、
田所真夜	で	あ	あ
	す	た	た
	。	リ	リ

中心
事

横にはらう
(筆順)
一 ハ ロ エ ュ 事

中心
係

横にはらう
(筆順)
ノ ハ 分 係

字形を整えて、つりあいよく書きましょう。

中心
分

左右のはらいのつりあい
あける
(筆順)
ノ ハ 分

分 (3) 分 (明) 分 (教)

面 (3) 面 (明) 面 (教)

ひつじゅん
一 ハ ロ エ ュ 面

面 (3) 面 (明) 面 (教)

ひつじゅん
一 ハ ロ エ ュ 面

漢字の形を正しく、ととのえて書きましょう。

「雪」を扁平にする

雪 (3) 雪 (明) 雪 (教)

ひつじゅん
一 ハ ロ エ ュ 雪

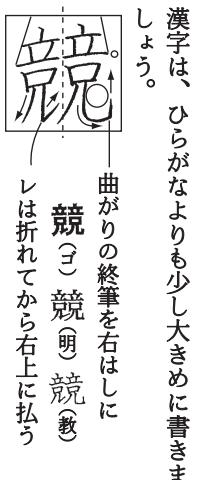
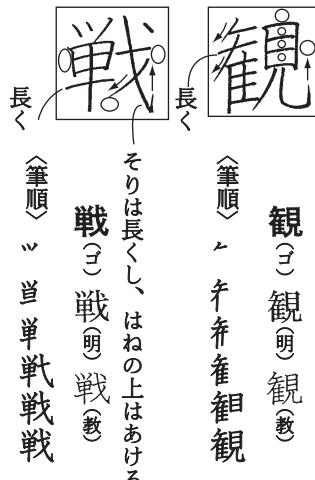
[1月8日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年

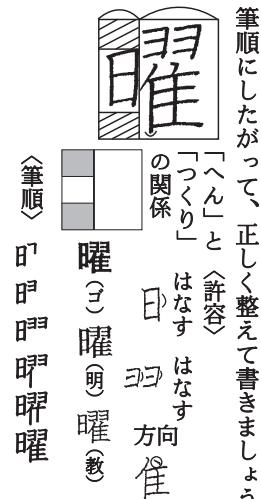
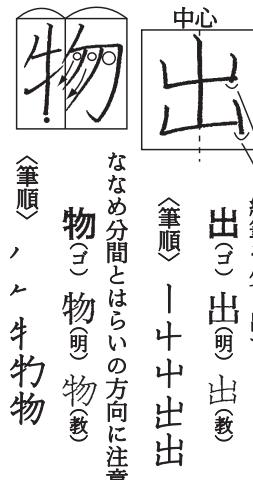
小学5年

支部名	を観戦しました。	昨日、電車で競技場へ行きサツ力の試合。
段・級		
学年	六	
名前	太田 海里	

支部名	ついて話した。	ムで音楽会の出し物に三谷美知。
段・級		
学年	五	
名前	三谷 美知	



漢字は、ひらがなよりも少し大きめに書きましょう。



筆順にしたがって、正しく整えて書きましょう。

〔1月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中 学 生 (行 者)

支 部 名	
段・級	
学 年	
中 三	
名 前	
今 泉 花	

不要
↓
家電
↓
不要

↓
点画の連続

↓
家電
↓
不要

↓
点画の連続

「行書の特徴」

行書は、楷書のように、点や画を一つ一つ作るのとは違い、流れのある筆使いの中から点画が形成されます。

中 学 生 (楷 書)

支 部 名	
段・級	
学 年	
中 三	
名 前	
今 泉 花	東京五輪のメダルはすべて回収 した不要な携帯電話や小型家電、 まさに都市鉱山からの産物であった。

正しい字形で、行がゆがまないよう、
注意して書きましょう。

これからのお作品締切日と課題

R6年3月号までの作品締切日と毛筆課題

小 5

ボ	き	
ー	物	身
ト	に	の
に	つ	回
ま	い	り
と	つ	の
め	い	調
た	。	べ
。	、	や
レ	生	

幼・小 1

が		
ふ	竹	
り	や	
ま	ぶ	に
し	に	ゆ
た	ゆ	き
。		

小 6

て	告	
な	げ	菜
じ	て	の
み	く	花
が	れ	は
深	る	春
い	。	の
。	物	訪
。	と	れ
し	し	を

中学生

沖	縄	は、
と	も	季節
美	に	や時間
し	変	の流れ
く	わ	と
魅	る	ても
力	海	
的	の	
で	表	
あ	情	
る。	が	

2月号の硬筆課題

※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

中学生 (全学年共通)	小 6	小 5	小 4	小 3	小 2	幼・小 1	締切日
暗中模索	先聖(孔子廟・臨書)	文庫	自由	よろこび	ゆびわ	む	2月7日
梅林美しい	世界旅行	道路	点画	図工	ポスト	やま	3月10日
千変万化	希望の春	約束	発表	花だん	きずな	せ	3月
つかむかな	風雲(孔子廟・臨書)	平和運動	周囲	美しい花	ビデオ	てん	

小 3

決	め	
め	ま	した
ま	し	。
し	た	
た	。	
。	。	
。	。	
。	。	
。	。	
。	。	

小 4

面	人	
は	に	同
い	よ	じ
ろ	つ	本
い	て	を
ろ	心	読
で	に	ん
あ	残	で
る	る	も
。	場	、



書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、(公財)書道芸術院評議員です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

第82回 画数の最も少ない漢字

今回も珍しい漢字を取り上げます。「画数の最も少ない漢字は?」というと大部分の皆さん、「一」と答えます。小学生ならこれで正解です。しかし中学生以上になると、もう一つ「乙」が増えます。一般の方ならばさらにもう一つ「〇」を思い出される人がいるかもしれません。実は、最も少ない「一画」の漢字は、このほかに也有ります。今回は、これら全部で九つの文字を、読み方と、漢和辞典で引くときに必要な部首などとともに紹介したいと思います。

①「一（イチ・イツ・ひと・ひとつ） 部首は「一部（いち）」

• 部首も「一」です。この部首の仲間は「七・丁・下・上・三・丘・世」などけっこうあります。

②「乙（イツ・オツ） 部首は「乙（レ）部（おつ・おつによう）」

• 部首も「乙」ですが、この部首には、曲がっているさま、押さえるさま、のびるさまも含みます。よって、俗にいう「つり針（レ）」という形もこの部首のなかに含まれます。仲間に「九・乞・乱・乳・乾」があります。

③「〇（漢数字ゼロ）【その他の特殊な記号や文字】よつて、部首は無し。

• 右の「漢数字ゼロ」は、通常の音義を持たないため特殊扱いで現代のJIS漢字補完表に掲載されているものです。私が中学校教員時代、生徒に出席番号を半紙に小筆で書き入れる時とか、住所の番地を書く時に便利なので教えました。この漢数字ゼロは、左下から時計回りに一画で書く方法と、左右二つに分けてつまり二画として書く方法がありますが、ここで一画として扱いました。漢和辞典の索引には、この「〇」が記載されていますので、漢字と思われがちですが、実は、そのなかで【その他の特殊な記号や文字】として扱われていますので、正確には漢

字ではありません。微妙な立ち位置にあることがわかります。

ところが、次から六つは、正真正銘の漢字で、書写を勉強したことがある人なら見たことがある「基本点画と同じ形」をしている珍しい漢字なのです。「漢字」としてどう読むのかほとんど知らない人の方が多いと思いますので見ていくこととします。

④「（てん） 部首は「丶部（てん）」。

• これには部首が存在するから漢字です。意味は、文の区切りをめぐることです。この部首の仲間には「丸・丹・主」があります。

⑤「（へツ）

⑥「（フツ） ⑤⑥どちらも部首は、「ノ部（の・はらいぼう・のかんむり）

• ここで面白いのが、⑤と⑥は払う方向が異なりますが、同じ部首なのです。意味は、⑤が「左へ払う」。⑥が「左から右下へひねる」となっています。この部首の他の漢字としては「乃・久・乏・乘」があります。

⑦「（コン） 部首は、「一部（ぼう）」

• 意味は、「すすむ。または、しりぞく」で一つの漢字に逆の意味も含まれています。この部首の仲間には「中・串」があります。

⑧「（ケツ） 部首は、「一部（はねぼう）」

• 意味は、「かぎ・下部が上に曲がった鉤」です。この部首の仲間には「予・事」があります。

⑨「（イン・かくす・かくれる）【隠の古字】

• 「隠」という漢字の「古字」なのでこの漢字の部首は、分類上「ござとへん」となります。たった一画の漢字や文字にも、調べてみると不思議な世界が広がっています。

今月のホープ



小六 大賀海咲 (泰香社)

三文字と名前のバランスが実に美しい。基本の筆使いが確かに、特に縦画の筆勢が魅力。生気に溢れた作品です。

支部名	日本古来の楽器に尺八がある。
段・級	竹林の中を過ぎていく風の音を表現できたら名人といえよう。
学年	
氏名	
支部名	赤松
段・級	
学年	中三
氏名	山田 真緒

中三 山田 真緒 (赤松教室)

一字一字丁寧で素直な書きぶりです。全体のバランスがよく、きれいに正確に書くのは素晴らしいです。



小二 大胡美翔 (恵泉会)

ふで おね あか
筆が大きくうごき、明るく、すっき
りと、ていねいな作品になりました。
名前も大きく、バランス良く見事で
す。

支部名	書樂	に	グ
段・級		つ	ル
学年	四	い	ー
氏名	五	て	プ
支部名	稻澤志歩	調	に
段・級		べ	分
学年		ま	かれ
氏名		し	、

小五 稲澤志歩 (書樂)

ていねいで伸びやかな書線、字形も整って、安定した素晴らしい立派な作品です。今後、益々楽しみです。

秋季昇段級試験最優秀作品



まず、何より品格を感じさせる作品です。確かな用筆に支えられた格調の高さが自然に表れ、澄んだ心が窺えます。

支部名 正華	庭の木々・芝生・垣根など
段・級	が、青い空や白い雲とともに、
学年	シヤボン玉の表面に映りました。
氏名 中三	
氏名 金谷実咲輝	

字形がしっかりととしていて、爽やかな線が全体に明るさを放っています。よく鍛錬されたすばらしい力作です。

中三 吉野陽葵 (こだま)



運腕大きく、スケールの大きな堂々とした快作。基本用筆が的確なため、揺るぎない深さが表されました。名前も立派です。

中三 金谷実咲輝 (正華)

支部名 春華	一、それが満天の星空
段・級	ち、に変わるころ。
学年	
氏名 六	
氏名 宮内杏奈	

骨格が強く、しっかりとした線で大きく躍動する姿が大変魅力的ですばらしいです。明るく堂々とした傑作です。

小六 古市和篤 (光峰)

小六 宮内杏奈 (春華)

2月号毛筆参考手本（予告）2月7日締め切り分

幼・1年

む

すとうさき

やま

小一
みうらよっこ

2年

3年

こよびろ

小三
田野しい

四工

小三
小池文平

4年

5年

文庫

小五
山下美幸

道路

小五
正田静子

6年

中学

先聖

中三
大沢俊彦

模暗索中

中一
山田花

美しい
梅林

中二
中山智之

ゆび

小二
三木ゆうた

自由

小四
上西洋子

ボス

小二
山口かんじ

点画

小四
中山千秋

旅世界
に行界

小六
星野道夫

伝お手
い

小六
黒川真子

○秋季昇段級試験の最優秀作品と特待生に合格された方を紹介します。また、審査長の下谷洋子先生より総評を頂きましたので、今後の学習の参考にしてください。皆さんの一層の上達を願つております。

○今月も中学生の毛筆課題は、東晋・王羲之の「蘭亭序」です。その後、王羲之は何度も書き直しましたが、どうしてもこれを超えるものは書けなかつたといわれています。

それから300年の時を経て、「蘭亭序」は永和9年（353年）3月3日、王羲之が会稽山の麓（現在の浙江省紹興県）の蘭亭に、41人の名士を招いて、禊をして詩をつくり合つ催しを行いました。ここで詠まれた詩集の冒頭に書かれた序文の草稿（下書き）が「蘭亭序」です。その後、王羲之は何度も書き直しましたが、どうしてもこれを超えるものは書けなかつたといわれています。

唐・太宗皇帝の手に渡ります。「蘭亭序」は、よく愛した太宗皇帝は、国中の王羲之の書を徹底的に収集しました。「蘭亭序」も苦労の末に入れ、虞世南、欧阳詢、褚遂良らに臨書をさせたり、専門家に精巧な複製を作らせたりしました。現在に見られるものの多くは、何度も写されて伝わる模本や拓本です。

太宗皇帝は、王羲之の書への愛着の思いを断ち切れず、自分のお墓に今まで収集した王羲之の書と一緒に「蘭亭序」も埋葬したとされています。太宗の死後、「蘭亭序」の真跡は、この世から無くなってしまいました。

毛筆参考手本